

5. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用希望について

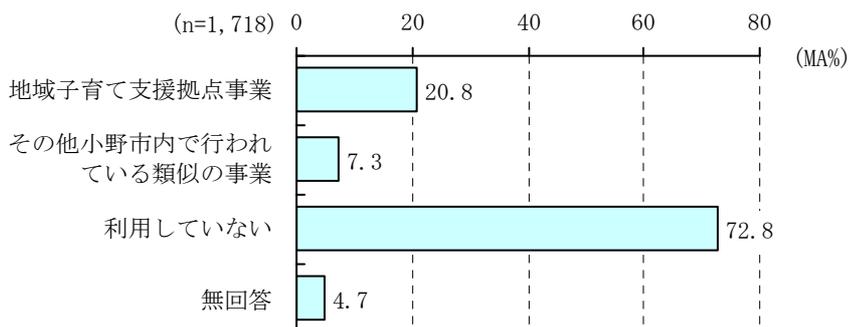
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

【○はあてはまるものすべて】

また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

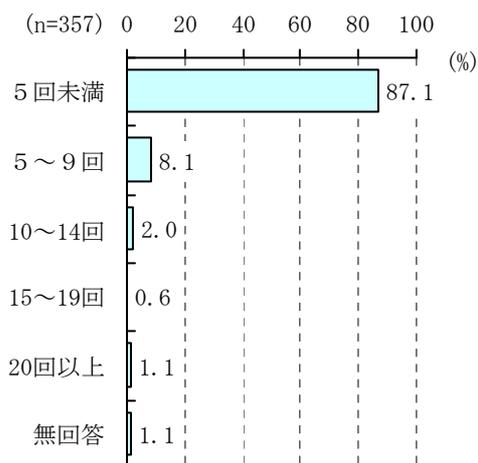
【地域子育て支援拠点事業の利用状況】



地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、「利用していない」が72.8%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」(20.8%)の順となっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用回数（月あたり）】

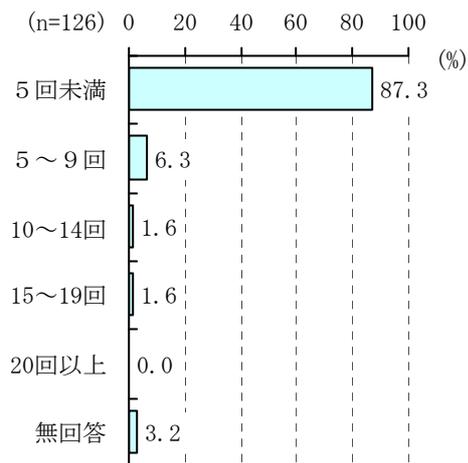
※地域子育て支援拠点事業を利用している人



地域子育て支援拠点事業の利用回数（月あたり）を見ると、「5回未満」が87.1%で最も高く、次いで「5～9回」(8.1%)の順となっている。

【類似事業の利用回数（月あたり）】

※類似事業を利用している人



類似事業の利用回数（月あたり）を見ると、「5回未満」が87.3%で最も高く、次いで「5～9回」(6.3%)の順となっている。

順位	問 17 類似事業の内容	件数
1	子育てサロン	17
2	赤ちゃんサロン	5
2	エクラのおしゃべりルーム	5
2	保育所の園庭開放	5
5	まちの子育てひろば	4
6	子育てサークル（児童館“チャイコム”）	3
7	親子ふれあい教室	2
7	すくすく教室	2
9	ひよこ学級	1
9	にこにこくらぶ	1
9	おひさま文庫	1

（参考）

「子育てサロン」は、市内のコミュニティーセンター（小学校区別／6箇所）において、就園前（1～3歳未満）の子どもと保護者が気軽に集まり、親子で一緒に遊びながら、仲間づくりと情報交換等を行っている事業です。

「赤ちゃんサロン」は、「子育てサロン」に参加する前のプレサロンとして、話し相手が少なく孤独になりやすい0歳児の保護者向けに、月1回、社会福祉協議会が開催している事業です。

「エクラのおしゃべりルーム」は、うるおい交流館エクラにおいて、主に就園前（0～3歳児）の子どもと保護者が集まり、情報交換や子育て講座、栄養相談等を行っている事業です。

「まちの子育てひろば」は、市内の法人保育所や地域団体などが、育児の孤立化、育児不安の防止等のために、主に就園前（0～3歳児）の子どもと保護者を対象として実施している事業です。

（「保育所の園庭開放」の回答は、開設場所が市内の法人保育所である同様の事業です。）

（「にこにこくらぶ」の回答も、開設場所が保健センターで「ふたご・みつごの親子」を対象として交流を図っている同様の事業です。）

（「おひさま文庫、石井文庫」の回答も、地域で開設運営されている同様の事業です。）

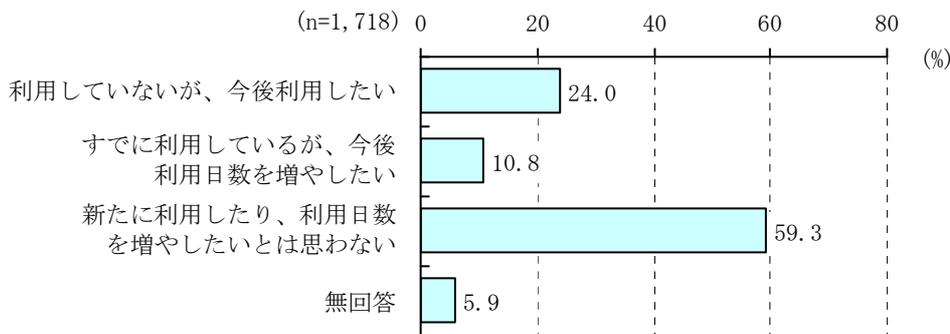
「子育てサークル（児童館“チャイコム”）」は、就園前（0～3歳児）の子どもと保護者10組程度でグループ構成し、年間活動を自主的に計画しながら運営していくサークル事業です。

「親子ふれあい教室」は、子どもの発達育成における個別相談や保護者の養育支援を行っていく事業で、月2回、市の子育て支援課が主管している教室です。

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。【○は1つだけ】
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

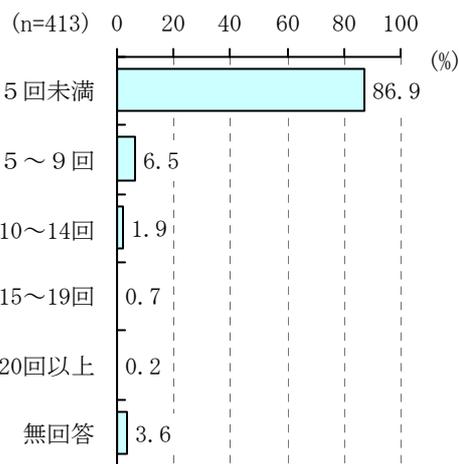
【地域子育て支援拠点事業の利用意向】



地域子育て支援拠点事業の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.3%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(24.0%) の順となっている。

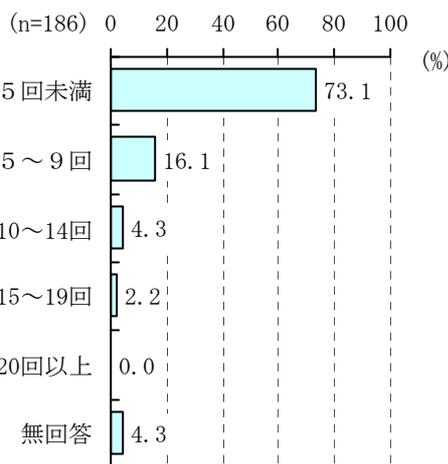
【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり）】

※現在利用なし、今後利用したい人



【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり・更に増やしたい回数）】

※現在利用あり、今後更に回数を増やしたい人



地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり）をみると、「5回未満」が 86.9%で最も高く、次いで「5～9回」(6.5%) の順となっている。

地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり・更に増やしたい回数）をみると、「5回未満」が 73.1%で最も高く、次いで「5～9回」(16.1%) の順となっている。